



移住者名	佐々木 茉奈
都道府県	香川県 香川郡 直島町
移住先	岡山県 倉敷市⇒香川県 直島町
移住年	半年
職業	学生⇒地域おこし協力隊
家族構成	単身
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

もともと京都の方の芸術系の大学に通っていたのですが、2回生の時に「学校で学べることは限られてくるな」と考え、実際に働いて現場に出たいと強く思い出しました。そこで、学校を中退。家族で訪れたことのある「直島」に働きに行ってみようと考えました。最初は瀬戸内国際芸術祭のスタッフや、アート施設の受付のバイトをしながら、実家と、直島の宿を行き来して、住む家とお仕事を探していました。アート施設のバイトの方に、直島町の地域おこし協力隊の方を紹介してもらいました。この方から、運営をしている「移住体験住宅」の管理人として住む部屋を紹介してもらったり、地域おこし協力隊のお仕事のチャンスなどをいただきました。お仕事としては直島町役場のまちづくり観光課にデスクをいただき、観光系のお仕事のお手伝いをしています。住民票を移したのは今年の4月からですが、直島と関わりだしたのは去年の4月からです。



Q. 移住の際不安に思ったことは？

やはり住むお家と、お仕事です。観光でしか訪れたことのなかった場所でどうやって暮らしていけばいいのか、知り合いもいないので誰に相談すればいいのか、本当にわからないことだらけでした。なので、自分が今困っていること、悩んでいること、不安に思っていることすべてを周りの人に話すことにしました。役場に直接行って求人を探してもらったり、アート施設のバイトの募集の紙が掲示板に貼っていたのを見てすぐに電話したり。どこからどう話が伝わって何につながるか、誰から誰に広がっていくのかは未知数です。積極的に自分から動くことと、「この島にずっといます」というのを伝えるのが大事なのかなと思います。

Q. 移住して良かったことは？

直島町は島でありながらあまり不便を感じさせない、生活のしやすさが良いところです。島内にコンビニエンスストアとスーパーもあり、最寄りの港まではフェリーで20分。本数も充実しています。島内も自転車で10分も漕げば反対側の港につくので、広すぎず狭すぎず。町内のバスもフェリーの時間に接続が良いので、移動手段には困らないところです。

直島といえば現代アートが有名ですが、町民になると、町内のアート施設が無料で鑑賞することができます！

直島に来てみたかった友達を案内できたり、おしゃれなカフェなども増えてきているので、休日は島内のカフェ巡りをして楽しんでいます。色んな場所でバイトや仕事をしたので、島内での知り合いやお友達も増えました。瀬戸内海の穏やかな景色を見ながらの生活は、街にはないゆっくりとした時間が流れるスローライフが送れます。

Q. 移住を考えている方へメッセージ

「移住」となると、踏み切るまでに「仕事はどうするのか」「本当に生活できるのか」たくさんの不安が出てくると思います。まずは現地に行って、現地の人にお話を聞くことから始めるといいと思います。それと、自分の好きなこと、これだけは譲れないという移住の動機などはブレずに持つておくと、早くゴールに辿り着くと思います。せつかく新しい場所に移り住むのですから、自分の好きを通さないともったいないと思います。